

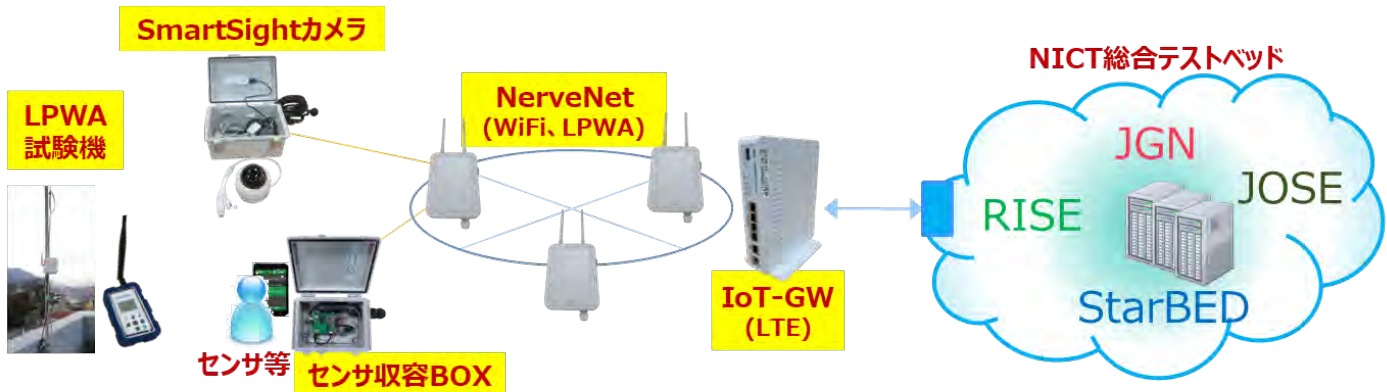


現場で試せるテストベッド

- ◆ IoTシステム導入の前に実証試験をしたい
- ◆ 現場で何がどれくらい必要なのかを確認したい
- ◆ 実証試験のための準備期間を短縮したい
- ◆ 一時的に使いたい（イベント時、緊急時、等）

これらの要望に応える機材を提供

主な機材の利用イメージと機能



ご要望	利用機材	機能
LTEやインターネット経由で簡単/安全にNICT総合テストベッドへ接続したい	IoT-GW(ゲートウェイ)	・ NICT総合テストベッドにセキュアに接続可能 ・ 複雑な設定が不要(NICTが設定を実施) ・ 端末(センサ等)の接続はWiFi/有線を選択可能
通信インフラが無い場所で通信手段を確保したい	NerveNet(ナーブネット)	・ 通信回線が無く携帯電話の電波も届かないような場所でも、無線(WiFi、LPWA)をマルチホップでつなげてネットワークを構築 ・ 電源(バッテリー、ソーラーパネル等)についてもサポート
センサをネットワークに接続したい	センサ収容BOX	・ センサを収容し、WiFiやLPWAで通信網へ接続することが可能
映像解析の実験をしたい	SmartSightカメラ	・ 画像自体の送信や、カメラ内で映像を解析した結果データの送信が可能
実証現場でLPWAが使えるか試したい	LPWA(LoRa)試験機	・ GPSを実装した子機を移動させながら基地局(親機)とのLPWA通信可否を測定することにより、LPWA疎通マップを容易に作成可能

NICT総合テストベッド活用研究会 IoT-GW試用サービスの利用方法

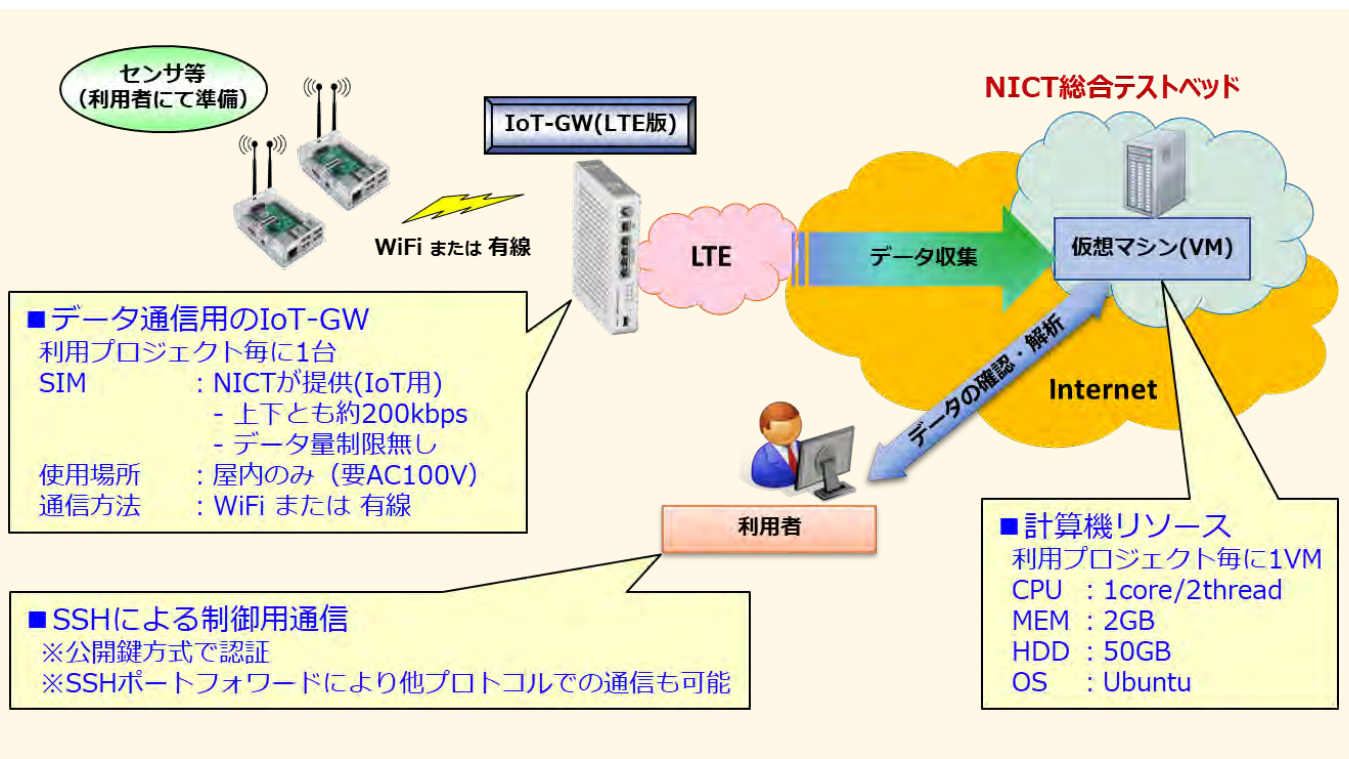
簡単な手続きで、IoT-GWを利用したIoT検証環境をすぐに試用できます。

■手続き：メールでNICT総合テストベッド活用研究会に入会を申し込むだけ
https://testbed.nict.go.jp/bunkakai/ict-tb_katsuyou.html



■試用期間：3ヶ月

■利用できるリソース：



リソースや利用期間の調整が必要な場合には、IoT-GW正規サービスに申し込んで共同研究契約を締結することにより最適化できます。